厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会長　市川信也
副会長　栗原良幸
幹事　畑中雄太
副幹事　建部卓也
会報・IT　金井良雄

世界に希望を生み出そう

2023～2024　国際ロータリー会長　ゴードン R. マッキナリー

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第3050回例会（12月12日）☆司会　柳田純昭SAA

点鐘　…市川信也会長

斉唱　…奉仕の理想

ゲスト・ビジター紹介

地区ポリオプラス委員会 委員
関口直美様（平塚湘南RC）

地区ポリオプラス委員会 副委員長
根岸君代様（平塚北RC）

須永理恵子様（大和田園RC）

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・2023年決議審議会への決議案提出のお願い
・【開催通知】シンガポール国際大会日本人親善朝食会
・秋田豪雨災害支援金の御礼と報告

委員会報告

◎ゴルフ同好会
次回コンペの案内

スマイル

関口直美様（平塚湘南RC）・根岸君代様（平塚北RC）
須永理恵子様（大和田園RC）
厚木ロータリークラブの皆様こんにちは。本日はポリオ委員会から卓話にきました。よろしくおねがいします。

三平宗憲様・中村貴代美様・神山辰徳様（厚木中RC）
令和6年2月10日（土曜日）に第6グループの「IM」がレンブラントホテルで開催されます。開催にあたり、厚木中クラブがホストを務めさせていただきます。厚木クラブの皆様方の多数のご参加をお待ち申し上げております。

市川信也会長・畑中雄太幹事
来年の2月10日（土）に行われるIM担当の厚木中RCよりPRとして三平副会長、中村幹事、神山副幹事がお越し下さりました。何かあれば厚木RCもご協力させていただきますのでお声掛け下さい。本日のプログラムは「疾病予防と治療月間」です。担当は鈴木社会奉仕委員長となります。地区ポリオプラス委員会委員 関口直美様（平塚湘南RC）、地区ポリオプラス副委員長 根岸君代様（平塚北RC）、ようこそ厚木RCへお越しいただきました。本日の卓話よろしくお願い致します。

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊事業所開設
畑中雄太君（25日）
前田賢一君（1月1日）

＊会員誕生日
難波有三君（25日）
早嵜慶一郎君（1月11日）

＊結婚記念日
会田義明君（25日）
今井銀河君（31日）

＊入会記念日
今井銀河君（H30.1.1）
前島憲司君（H25.1.7）
髙橋　宏君（H16.1.9）
常磐重雄君（H20.1.9）

今日の例会（2023年12月19日）

「年親睦例会」
担当：親睦活動委員長 前島憲司君

次回の例会（2024年1月12日）

「4クラブ合同賀詞交歓会」
担当：市川信也会長

世界に希望を生み出そう

本多正彦君
2023年最後の例会出席となります。皆様に御面倒をお掛けして申し訳ありません。一年間有難うございました。

鈴木茂男君
本日の卓話担当の鈴木です。今日の卓話は疾病予防と治療月間でポリオの根絶について卓話をしていただきます。よろしくお願いいたします。関口様、根岸様、須永様。

金井良雄君
妻の誕生日祝いありがとうございます。

西嶌洋一君
所用のため早退致します。

財津高広君
所用の為早退致します。

今日のお花

ダリア（市川信也会長）
千両（建部卓也君）

例会　「歴史をつくるカウントダウン　ポリオは根絶できる みんなの力があれば」

担当：鈴木茂男君
講師：関口直美様（平塚湘南RC）

先ずポリオという病気について説明いたします。

ポリオはウィルスによる感染症です。日本ではポリオが流行した時に小さい子供の麻痺がよくみられた為、「小児まひ」と呼ばれていますが、大人にも感染します。

ウィルスは主に人の排泄物を介して口から入ります。不衛生な水などにより、飲食物や手などに付着して口から入ることが考えられ、口の中に入ったウィルスは喉に定着したり、あるいは飲み込まれて腸に定着し、増殖します。ウィルスはさらに付近のリンパへと侵入し、血液の流れに乗って中枢神経にたどり着き、麻痺を引き起こすことがあります。

ポリオは根絶可能な疾病です。なぜそう言い切れるのか５つの理由を述べます。

1. ポリオウィルスの感染期間は非持続的です。
ポリオに感染しても、感染力のある期間は限られています。通常1 ～２週間程度です。

2. 感染経路は感染者とその排泄物のみです。
通常、ひとの排泄物だけが感染源となります。このように感染経路の特性を知る事でポリオ克服に近づけます。

3. ポリオウィルスが自然界で生存し続けるには限界があります。
野生型のポリオウィルスはヒトの体内以外では長く生存できません。

4. ひとが唯一の宿主であること。
これは何度も立証されましたが動物を介して生存・感染するウィルスは確認されていません。

5. そして最後にワクチンの予防接種によって感染を防ぐことができます。

1988年に比べて、発症数は99.9％減少しました。

残りは0.1％いや0.01％にも満たないのですが、このほんの少しの戦いが最も困難だと言われています。その理由としては

遠隔地や不十分なインフラ、戦争やテロ地域である事や文化的な障害が挙げられますが、根絶をしない限り、世界中の国々がポリオの再発生のリスクにさらされていることになるわけです。私たちはこの困難な残り0.1％の戦いをここでやめるわけにはいきません。

まず、野生株ポリオウィルスの発症が起きている3カ国で感染を断ち切り、既にポリオフリーとなった国にウィルスが流入しないようにしなくてはなりません。流入リスクの高い国は最大60カ国と言われ、現在も続けて全国一斉予防接種などのキャンペーンを続けています。

このポリオウィルスを完全に根絶しない限り、今後１０年間で新たな発症は世界で２０万件に上がると推定されています。

ここでポリオプラスの、そのプラスが何を意味するかを説明いたします。当初のプラスの意味は、ポリオと共に子供のかかりやすい伝染病（はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）の５つをプラスして同時追放を目指していました。

しかしポリオ根絶運動の取り組みとともに　新たな恩恵（プラス）が増えてきました。ワクチンの運搬、保存をするための物流方式が発展途上地域で確立され、これはまさにコロナウィルスのワクチン運搬や保存にも生かされました。この新しい物流方式はコールドチェーンとも呼ばれています。

ここで寄付の話になりますが、国際ロータリーではポリオ根絶の為に毎年5000万ドルの拠出を目標としています。ビル＆メリンダ・ゲイツ財団はロータリーの寄付に対して２倍額を上乗せすることを約束しています。資金は「根絶活動の運営」「医療従事者の支援、確保」「研究所の設備」「啓発資料」などに使われています。２７８０地区ではポリオプラス基金として一人40ドルの寄付を目標としております。

ビル・ゲイツはこのように言っております。「ロータリーから刺激を受け、私もポリオ撲滅に深く関わろうと決意しました。ロータリーがなければ、今日の世界はなかったでしょうし、今後世界が向かうべき方向も失われていたでしょう」

ポリオのない世界の実現へ向けて　根絶に賭ける５つの理由の述べます。

根絶を諦めれば今後数千万人の子供がポリオで身体麻痺になる。

根絶達成は目前に迫ってます。

根絶を達成すれば、今後２０年間で５００億ドルの経済効果　７兆５千億円

日本だけでもポリオワクチンが入った4種混合から3種混合に変わるだけでも1年間で150億円相当の費用が節減されます。

そしてこの疾病監視のネットワークは他の感染症対策にとって世紀的な贈り物になります。

またポリオ根絶は公共保健の歴史的快挙となります。これは天然痘に続いて2例目です。

ゴードン・マッキナリー RI会長は「ロータリーが、ポリオのない世界という夢（ビジョン）を追い続け、最優先事項として位置づけて　継続して大きなことを成し遂げてきた　この35年間は、私たちの誇りであること最近再びポリオが発生したことで　世界の子供たちを脅かすポリオという恐ろしい病の根絶に　再び注目が集まっていること　ポリオ根絶というロータリーの夢（ビジョン）を実現するために　ロータリーは新たな緊張感をもって　必要なあらゆるリソースを　提供すべき時が来ているのであり　根絶が実現した暁には　ロータリーは大きな歴史的称賛を受けるに値する」と述べています。

出席報告　＜会員 37 名、出席対象 34 名＞

11 月 21 日例会　　確定出席率 93.94％	12 月 12 日例会　　出席 29 名　欠席 5 名　出席率 85.29％
＜事後メイク＞ 金井良雄君（11月26日／地区大会） 黄金井陽介君（11月26日／地区大会） 財津高広君（11月26日／地区大会） 中原真也君（11月26日／地区大会） 前島憲司君（11月26日／地区大会）	＜欠席＞ 黒柳告芳君・黄金井陽介君・小島久美子君 常磐重雄君・早嵜慶一郎君